

NASS International annual meeting 2023 参加報告書

日本脊椎脊髄病学会 国際委員会 委員 玉井孝司（大阪公立大学）

日本脊椎脊髄病学会 国際委員会 委員 北村和也（防衛医科大学）

この報告書は、2023年7月にタイ・バンコクで開催された NASS International Annual Meeting: Bangkok への参加に関するものです。NASS international（以下、NASSi）より日本脊椎脊髄病学会へ参加の要請があり、国際委員会委員である玉井・北村が日本脊椎脊髄病学会からの代表として参加いたしました。

【会議の概要】

会議名：NASS International Annual Meeting: Bangkok

日時: 2023年7月19日～21日

場所: バンコク、タイ

テーマ: Advancing Multidisciplinary Spine Care Across the Globe

Chair : Patrick C. Hsieh

【セッションと参加活動】

NASSi では一般演題（3セッション）だけでなく、JSSR（玉井・北村）や AO Spine Asia Pacific（岡山ろうさい病院 田中雅人先生、江南厚生病院 金村徳相先生）を含んだ世界中の15の脊椎学会から集まったメンバーが、学会タイトルの通り多種多様なトピックを議論する16ものシンポジウムが開催されました。またシンポジウムの多くは複数学会の合同シンポジウムであり、異なるバックグラウンドを持つ複数国の医師たちが互いに質問し合う、とても活気に溢れた”Discussion”がなされたことが特徴的でした。

我々は7月20日AM7:30から90分間、NASSiとJSSRの合同シンポジウムとして「Cervical Myelopathy and OPLL」というシンポジウムを主催しました。ModeratorをNASSiからJeffrey C. Wang先生が、JSSRからは玉井が行いました。各5分の8講演（演者と演題名は下記参照）を行い、最後にPanel discussionを行いました。

Jeffrey C. Wang: Radiographic and clinical predictors for progression of cervical myelopathy

David R. O'Brien, Jr.: Medical and nonsurgical treatment of cervical myelopathy

Wael Alshaya: Complex craniocervical disease

Koji Tamai: Updates on surgical treatment of OPLL

Koji Tamai: ACDF for treatment of cervical myelopathy with OPLL

Kazuya Kitamura: Laminoplasty and muscle-preserving selective laminectomy

Mark Spoonamore: Laminectomy and fusion

Vit Kotheeranurak: Endoscopic decompressions for cervical stenosis and myelopathy

【JSSR としての役割と貢献】

NASSi が主催する初めての Annual meeting において合同シンポジウムを開催いたしました。Annual meeting が1会場でのみの開催（図1）ということもあり、当日も非常に多くの方に参加をいただく事が出来ました。JSSR は多くの分野で世界をリードしていますが、本シンポジウムでは特に後縦靭帯骨化症や頸椎手術の領域などでの新しい知見の報告を期待されているように感じました（図2）。Panel discussion におけるの質疑応答も非常に活発に行われ、3 日間の会議中でも最も盛り上がったシンポジウムの一つであったと考えます。

【NASSi に参加した一日本人脊椎外科医として感じたこと】

合同シンポジウムの中でも、Case discussion では特に活発な討議がなされました。日常診療で非常によく遭遇する疾患（変性すべりを伴った多椎間の腰部脊柱管狭窄症など）をあなたならどう手術するか、といった誰もが意見を述べる事ができる症例が提示されました。やはり米国医師が中心に発言されましたが、アジア諸国の医師にも意見が求められ、予定時間を大幅に超える白熱した議論となりました。JSSR 学術集会においても参加国合同でこのようなシンポジウムや case discussion がなされれば、特に若い世代にとっては大きな刺激になるのではないかと感じました。

この度はこのような貴重な機会を頂戴し誠に有難うございました。JSSR 学術集会のさらなる拡充へ向け、微力ながら努めて参る所存です。引き続きご指導を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

図1 NASSi 会場



図2 JSSR 合同シンポジウム風景 AI による OPLL 画像診断技術について（玉井）

